

日本美しい森 お薦め国有林

人は、生き物は、森に生まれ、森に守られて暮らしてきました。

幾重にも連なる樹々の緑とふれあい、

自然の息吹を肌で感じるとき、

きっと私たちの心には、新たな生命の力が芽吹いてくるはずです。

日本の国土の70%は、美しく豊かな森林に囲まれています。

林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、

全国の美しい国有林に「レクリエーションの森」を展開しています。

この中から、特にみなさまに訪れていただきたい森を

「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。

利用する皆様への国有林からのお願い

- 1 動植物の保護にご協力ください。ペットの連込みはマナーを守り、周囲の環境に十分配慮してください。
- 2 樹木を損傷したり、林産物を窃取したりした場合は、法により罰せられることがあります。保安林内では、下草の採取等も禁止されています。
- 3 歩道、広場等の区域外への立ち入りはお控えください。指定地外でのキャンプは禁止など、それぞれのレクリエーションの森のルールに従ってください。
- 4 立入制限の表示がある区域には、絶対に立ち入らないでください。
- 5 休息などで立ち止まる場合には、落下するおそれがある枝がないか、落石の危険がないか、安全な場所であることを十分にご確認ください。
- 6 登山は自己責任が原則です。天候や登山情報を確認し、十分な装備で、登山計画を家族等に伝えるときに、登山地域の警察署等に「登山計画書」を提出願います。併せて、登山口等に設置してある「登(入)山者名簿」に必要事項を記載の上、入山してください。
- 7 悪天候のときは入林をお控えください。
- 8 余った食糧を林内に棄てることはしないでください。ゴミ・残飯の持ち帰りにご協力ください。
- 9 喫煙は決められた場所をお願いします。タバコなどの火の始末にご協力ください。
- 10 山道は危険です。歩きながらの携帯電話等の使用は危険ですのでお止めください。写真撮影に際しても周囲の状況を確認し、他の利用者の迷惑にならないよう、十分注意してください。
- 11 小型無人航空機(ドローン)を飛行させる場合は、事前に最寄りの森林管理局又は森林管理署にご連絡の上、所定の手続きをとってください。

日高自然の森自然観察教育林 アクセスMAP



アクセス方法

公共交通機関の場合:

- 日高町営バス「日高総合支所バス停」から徒歩(約15分)
 - 札幌駅(JR石勝線:特急で約70分)→占冠駅(※)
 - 新千歳空港(JR千歳線:3分)→南千歳駅 乗換(JR石勝線:特急で約60分)→占冠駅(※)
 - 帯広駅(JR石勝線:特急で約75分)→占冠駅(※)
- ※占冠駅→日高町営バス(日高総合支所行:約25分)→日高総合支所下車

車の場合:

- 札幌駅(道央道占冠IC:約90分)→一般道(約15分)→日高自然の森自然観察教育林
- 苫小牧フェリーターミナル→一般道(約100分)→日高自然の森自然観察教育林
- 帯広駅(占冠IC:約70分)→一般道(約15分)→日高自然の森自然観察教育林

日高自然の森自然観察教育林

住所:北海道沙流郡日高町字富岡

お問い合わせ先:

林野庁北海道森林管理局 日高北部森林管理署

電話番号:01457-6-3151

日高自然の森自然観察教育林管理運営協議会

(日高町日高総合支所)

電話番号:01457-6-2008

林野庁 国有林野部 経営企画課

林野庁レクリエーションの森 ホームページ

http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/rekumori.html



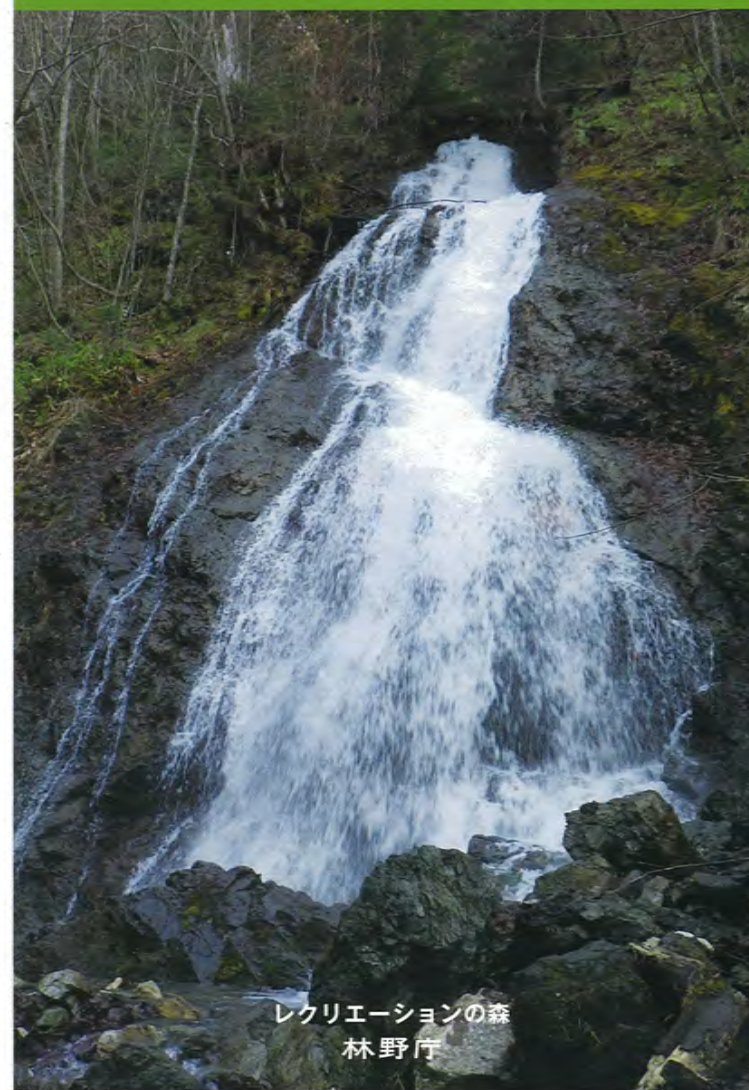
北海道

ひだか

日高

自然の森自然観察教育林

森と地球の営みを日高山脈の麓で体感



レクリエーションの森
林野庁

日高山脈のふもとに広がる森と清流の空間

ひだか 日高自然の森自然観察教育林案内図



- トイレ
- バリアフリートイレ
- ホテル 宿泊施設
- 温泉
- キャンプ場
- 山小屋
- その他 関連施設
- ゲート
- レストラン
- 自動販売機
- 水飲み場
- 売店
- スキー場
- ゴルフ場
- その他の運動場
- バスのりば
- 駐車場
- 滝
- 標高 (m)

気候等と植生・野生生物

大陸性気候の傾向を示し、気温の変化が大きく降雪量も多くなっています。自然観察教育林には、植林されたトドマツ、カラマツ、エゾマツ等のほか、天然林のミズナラ、ウダイカンパ、ダケカンパ、シナノキ等が生育しており、中には直径100cmを超える巨木も見られるだけでなく、オオサクラソウ、エンレイソウ、エゾエンゴサク等の草本植物も見ることができます。このほか、エゾシカ、キタキツネ、エゾシマリス等の動物や、アカゲラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどの野鳥を観察することができます。



サンゴの滝の春

楽しみ方

区域内の沢沿いでは、昔から大地に変化が起こっていたことが分かる様々な地層を見ることができます。沢の河原では、ヒスイ、クロム、マンガン等の鉱石を観察できます。また、恵まれた自然環境を活かし、ハイキングやトレッキング、昆虫採集、野鳥・樹木・化石等の自然観察の場として活用も可能です。隣接している国立日高青少年自然の家には、キャンプ場などの野外体験施設が整備されており、大自然の中で自然体験、スポーツ、レクリエーション、クラブ等の様々な活動を楽しむことができます。また、日高国際スキー場は、眼下に広がる日高町の町並みの眺望を楽しみながらパウダースノーをダイナミックに滑走できるだけでなく、夏も山菜採取や雲海が楽しめることから、多くの来訪者で賑わっています。



冬の家で野鳥観察

地理的・地形的特徴

日高山脈は、北海道中南部に位置する南北150km以上に及ぶ脊梁山脈で、2つの巨大なプレート（北米プレートとユーラシアプレート）が衝突する場所に位置しています。白亜紀以降、大西洋が拡大し続け、その裏側ではプレートの衝突が進行した結果、約1,300万年前から山脈上昇が開始し、日高山脈が形成されました。日高町がある北日高地区は、中生代白亜紀の鳥孤一海溝系と大西洋地域の地質が、日高山脈形成のおかげで陸上で圧縮されて観察できる世界でも有数の地域となっており、多種多様の岩石や鉱物、化石などが見ることができます。



ひだか樹塚まつりでの流氷レース

歴史的・文化的特徴

昭和46年に「日高自然の森」に設定される以前には、昭和12年～昭和29年まで、マンガン、クロム、石綿などの採掘がおこなわれ、鉱石運搬路造成の際、沢水の導水対策としてトンネルが掘られ、人工の滝「サンゴの滝」が作られました。「サンゴの滝」の名称は、この周辺から「六射サンゴ」の化石が発見されたことに由来します。六射サンゴの化石の存在は、8,500万年ものほのかな昔、ここが海の底だったという証拠です。



鉱石運搬路跡

施設情報

- 標高 260～980m
- 面積 1,081.62ha
- 入園料 無料
- 開園期間 林道にゲート2箇所有り。冬期間（11月下旬頃～翌5月上旬頃まで）積雪等により車両通行不可
- 宿泊 国立日高青少年自然の家（隣接）・ひだか高原荘（隣接）旅館・ホテル（5km/10分）・日高沙流川オートキャンプ場（近郊）
- 駐車場 国立日高青少年自然の家駐車場：約45台・無料